

「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」

平成20年度共同議長 大学側：中澤工学部長
高校側：佐藤日南高等学校長（普通科部会長）

平成18年度、高等学校と宮崎大学工学部との教育に関する連携を図るため、このネットワークが設立されました。

設立趣旨：

本ネットワークは、理科・数学に関わる高等学校と大学間の教育に関する情報交換と連携を中心に活動していくものです。このネットワークを立ち上げる1つの理由は、入試制度および高等学校の教育内容の多様化、2006年問題などさまざまな要因による新入生の学力格差の増大です。工学部として、基礎教育の充実に努めてきましたが、大学のみではその対応に限界があり、入学前教育を平成17年度から実施しています。このことは高等学校との接続教育を進めるまでの1つの目的となります。また、入学前後の学生の勉学意欲の持続、進学する目的意識の堅持などのために、大学として学部教育の内容を含めた情報を高等学校に提供することも出来ます。このような連携を進めていくことで、高等学校と大学が抱えている問題を共有し、その解決策を見つけるために役立つと考えます。現在、物理では、「高等学校と大学との物理教育に関する連絡会」、化学では「宮崎県理科・化学教育懇談会」の組織があります。数学についても新たな組織を立ち上げることで、本ネットワークは広い意味での理科・数学教育のレベルアップを高等学校と大学が公式にサポートしていくものとなります。

ネットワーク設立経緯

1. 設立準備：

1) 学部内での基礎教育に関する意見交換会

日 時：平成18年7月26日（木）15：00－16：00

参加者：11名（工学部教育関係委員会委員長など）

2) 宮崎県教育庁、県立宮崎農業高等学校、県立宮崎南高等学校、県立宮崎工業高等学校を訪問、ネットワーク設立の趣旨説明と協力を依頼した。

日 時：平成18年9月29日（金）

3) 設立準備会

ネットワーク会議での議題の調整と組織運営について議論した。

日 時：平成18年10月19日（木）14：00－17：00

会 場：宮崎大学工学部大会議室

参加者：高等学校11校16名、工学部22名

2. ネットワーク設立

本会議：

ネットワーク設立の趣旨説明を行い、高等学校から大学への継続教育についての問題点が議論され、共通認識を得た。ネットワーク運営についての意見交換を行った。ネットワーク総会と3つの部門（数学・物理・化学）を置き活動する。将来、工業系の部門を設置する。総会を年に1回、部門の会議を年に1～2回程度開催する予定である。

幹事校として7高等学校を決定した。

日 時：平成18年10月26日（木）13：00～16：30

会 場：宮崎大学総合研究棟プレゼンテーション室

参加者：高等学校20校24名、工学部19名

10月27日 宮崎日日新聞に関連記事が掲載された。

3. 数学部門のネットワーク設立準備：

数学の教員間ネットワーク作りについての意見交換と授業参観を実施した。

日 時：平成18年11月24日（金）

会 場：宮崎県立宮崎南高等学校

4. 平成19年度「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」幹事会

理科、数学を中心とした高校と大学の教育内容や継続教育などについて、情報や意見を交換し、相互理解を深めながら、高大連携の一層の推進を図ることを目的とした本ネットワークが平成18年に設立されており、平成19年度における全体会議の開催に向けた幹事会が10月3日に工学部大会議室で開催された。高校側の幹事校（宮崎工業、宮崎南、宮崎西、佐土原、都城西、妻、延岡星雲）と工学部委員（物理部会、化学部会、数学部会、工業系部会）の出席のもと、教育ネットワーク要項（案）、全体会議での各部会報告、基調講演等について検討を加え、11月中旬を目処に全体会議を開催することを決めた。

日 時：平成19年10月3日（水）15：00～17：00

会 場：宮崎大学工学部大会議室

参加者：高等学校7校7名、工学部12名

5. 平成19年度「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」全体会議

12月21日（木）に全体会議が工学部大会議室で開催された。県内21の高校から25名、工学部から19名の出席のもと、教育ネットワーク要項（案）の審議、部会からの報告（報告者は森浩二准教授（物理部会）、湯井敏文准教授（化学部会）、大塚浩史准教授（数学部会）、平野公孝教授（工業系部会））および基調講演（黒木正彦妻高校校長：理科教育の現状と課題について、平野公孝教授：技術者教育を充実させる取り組みと今後の発展方向）ならびに討議、意見交換が行われた。

日 時：平成19年11月21日（水）15：00～17：00

会 場：宮崎大学工学部大会議室
参加者：高等学校 21 校 25 名、工学部 19 名

6. 平成 20 年度「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」幹事会

理科、数学を中心とした高校と大学の教育内容や継続教育などについて、情報や意見を交換し、相互理解を深めながら、高大連携の一層の推進を図ることを目的とした本ネットワークが平成 18 年に設立されており、平成 20 年度における全体会議の開催に向けた幹事会が 10 月 20 日に工学部大会議室で開催された。高校側の幹事校（宮崎工業、宮崎南、宮崎西、佐土原、都城西、妻、延岡星雲）と工学部委員（物理部会、化学部会、数学部会、工業系部会）の出席のもと、全体会議での議題及び各部会報告、基調講演等について検討を加え、11 月下旬から 12 月上旬を目処に全体会議を開催することを決めた。

日 時：平成 20 年 10 月 20 日（月）15：30 – 17：30
会 場：宮崎大学工学部大会議室
参加者：高等学校 9 校 9 名、工学部 12 名

7. 平成 20 年度「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」全体会議

12 月 10 日（水）に全体会議が工学部大会議室で開催された。県内 20 の高校から 21 名、工学部から 17 名の出席のもと、基調報告（宮崎県校長会普通科部会長の佐藤幸美日南高等学校長：高大接続テスト、SSH での構想、日南高校での取り組みについて）、部会からの報告（報告者は森浩二准教授（物理部会）、湯井敏文准教授（化学部会）、大塚浩史准教授（数学部会）、平野公孝教授（工業系部会））を受けた後、議題として、

1. 工学部への志願者増加策について
－理科離れを食いとめるための高大連携による啓発活動－
2. 入試制度について
－推薦入試のあり方－

を取り上げ、種々意見交換を行った。

日 時：平成 20 年 12 月 10 日（水）15：00 – 17：00
会 場：宮崎大学工学部大会議室
参加者：高等学校 20 校 21 名、工学部 17 名

8. このプロジェクトは下記の援助又は事業により行われました。

- 平成 18 年度「教育戦略経費」
事業名称：「工学部基礎教育支援室」からの援助
- 平成 19 年度「宮崎大学地域貢献推進事業」
事業名称：「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」
- 平成 20 年度「宮崎大学地域貢献推進事業」
事業名称：「高等学校と宮崎大学工学部との教育ネットワーク」